

リソースマネージャーとしての「連携」と「協創」
～子どもたちの笑顔を未来につなぐために私たちが今できること～



2021年7月16日
熊本県学校事務研究協議会 研究部

本日のLive配信について

- 15:05～15:30 研究基調
(本年度の研究テーマ及び研究について)
- 15:05～15:50 質疑及びご意見受付時間
Google Formによる質疑及びご意見受付
- 15:30～15:50 休憩
- 15:50～16:30 質疑応答及び意見交換会

質問やご意見が多数で時間が足りない場合などは、HPで回答いたします。

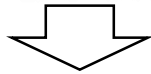
熊本県学校事務研究協議会 研究会

- ① 熊本県学校事務研究協議会の歴史
- ② 現在の熊事研 研究部の取組
- ③ 熊事研と郡市事務研の活性化のために
- ④ 令和3年度 研究テーマの提案
- ⑤ まとめと意見交換

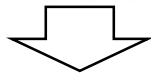
熊本県学校事務研究協議会の歴史

熊本県学校事務研究協議会の歩み

- 昭和44年に球磨人吉・八代郡市・水俣葦北の地区事務研により城南三市三郡学校事務研究協議会発足



- 昭和47年城南地区学校事務研究協議会発足



- 昭和50年熊本県学校事務研究協議会発足

熊本県学校事務研究協議会の歴史

熊本県学校事務研究協議会の歩み

- 昭和44年に球磨人吉・八代郡市・水俣葦北の地区事務研により城南三市三郡学校事務研究協議会発足
- 昭和47年城南地区学校事務研究協議会発足
- 昭和50年熊本県学校事務研究協議会発足

熊本県学校事務研究協議会の歴史

なぜ熊本県学校事務研究協議会

というひとつの

「組織」にまとまったのか？

熊本県学校事務研究協議会の歴史



熊本県学校事務五十年史	
目 次	
序文	1
第一章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発祥・発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第五章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第六章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第七章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第八章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第九章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十一章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十二章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十三章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十四章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十五章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十六章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十七章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十八章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第十九章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十一章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十二章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十三章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十四章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十五章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十六章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十七章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十八章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第二十九章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十一章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十二章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十三章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十四章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十五章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十六章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十七章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十八章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第三十九章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十一章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十二章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十三章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十四章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十五章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十六章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十七章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十八章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第四十九章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1
第五十章 学校事務の発展と変遷	1
第1節 発展	1
第2節 発展	1
第3節 発展	1

熊本県学校事務研究協議会の歴史

県事務研執行部は発足当初、城南三市三郡事務研の時代からの**悲願である職務内容の明確化・確立に向けての取り組みをさっそく開始**しています。1975年度の職指定への具体的な取り組み、翌年度には県の研究団体補助金を受け始めたこと、さらに1978年度に県の補助金の対象事業として「**事務職員の標準的職務内容についての意識調査**」といった一連の取り組みが行われた。

熊本県学校事務研究協議会の歴史

熊本県学校事務研究協議会は

発足当時、学校事務職員の本務が何であるか決まっておらず、職務内容が学校で標準化されていなかったため

熊本県学校事務研究協議会の歴史

学校事務職員の本務が何であるか決まっておらず、職務内容が学校で標準化されていなかったため

熊本県下の学校事務職員がひとつになり
県教育委員会と組織として協議交渉した。

熊本県学校事務研究協議会の歴史

「組織」

熊本県学校事務研究協議会は
 になって具体的な取り組み
 や問題提起を活発に行い、
 各地区研段階での論議を積み重ね
 ながら職務内容の明確化を図った。

熊本県学校事務研究協議会の歴史

熊本県学校事務研究大会 第1回 宇城大会

昭和50年10月24日～25日 IN 宇土市民会館

10月24日 講演 体験発表

研究発表「初任者研修」「文書処理」「年間学校事務」

問題提起 学校事務職員の標準的職務内容の確立

10月25日 分科会

- 1 学校事務職員の標準的職務内容とその確立
- 2 義務制小中学校における問題点と事務職員の立場

熊本県学校事務研究協議会の歴史

温故知新

昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること。(広辞苑第七版)

現在の熊事研 研究部の取組

熊本県学校事務研究大会 第1回 宇城大会から

40年後の平成29年4月に

学校事務職員は事務をつかさどる

と職務規定が見直された

現在の熊事研 研究部の取組

学校事務50年史にこのような文があります。

「職務とは仕事に人間を配置して目的達成活動をすることですが、学校では逆に人間に仕事をくっつけるような形になっている」

現在の熊事研 研究部の取組

学校事務職員は職務として

「総務・財務等の学校の事務を一定の責任をもって自己の担任事項として処理し、戦略的意思決定、カリキュラム・マネジメント、地域連携協力のプロセス（校務運営）へ主体的・積極的に参画すること」

をしなければいけない職業となったのです。

現在の熊事研 研究部の取組

そこで、研究部では学校事務職員は

「総務・財務に通じる専門職として、学校教育目標達成するために、財務と教育過程をつなぐ役割と地域と学校をつなぐ役割を担い、事務機能を果たさなければいけない」と定義しました。

現在の熊事研 研究部の取組



現在の熊事研 研究部の取組



職務規程が改正された
H29年度の熊事研大会
において提案された、
熊本版グラドデザイン
で既に「つかさどる」
機能については、
可視化されている

現在の熊事研 研究部の取組

「つかさどる」と学校教育法が改正になり

◎熊事研大会は主体的な学びの場

「つかさどる」⇒主体的・対話的・深い学び・行動

現在の熊事研 研究部の取組

「つかさどる」と職務規定が改正になり

◎熊事研大会は主体的な学びの場

「つかさどる」＝主体的・対話的・深い学び・行動

- 県・市町村教育委員会主催の研修を
補完する研修の場
- 学校経営を担える人材育成の場

現在の熊事研 研究部の取組

「全体研修・キャリア別研修」を設定することで

◎熊事研大会は出会い(人・経験)による成長の場

1人での限界、1つの小組織での限界

現在の熊事研 研究部の取組

「全体研修・キャリア別研修」を設定することで

◎熊事研大会は出会い(人・経験)による成長の場

1人での限界、1つの小組織での限界

組織は力

向かう方向をともに考え行動する場

Thinking Time ちょっと考えてみましょう



Thinking Time ちょっと考えてみましょう



「何のために学ぶのか」
という

学びの質に
シフトしている

Thinking Time ちょっと考えてみましょう

あなたが働く学校は

学びの質を高める環境に

なっていますか？

Thinking Time ちょっと考えてみましょう

何のために働くのか？

何のための組織なのか？

何のための熊事研なのか？

熊事研と郡市事務研の活性化のために
研究テーマを掲げ組織として
私たちは 今
何をしなければいけないのか
研究する必要がある

熊事研と郡市事務研の活性化のために
個人や小組織では出来ないことに
協議会組織として、
ともに同じテーマのもと
挑戦する必要がある

熊事研と郡市事務研の活性化のために
研修の場・人材育成の場として

「研究テーマの設定」
と
「研究計画の策定」

スクールビジネスリーダーシップ
研修テキスト

藤原 文雄 著



令和3年度 研究テーマの提案

スクールビジネスリーダーシップ
研修テキスト

教育的素養を有した
「リソースマネジャー」
としての学校事務職員
藤原 文雄 著
学事出版

令和3年度 研究テーマの提案

リソースマネージャーとしての
「連携」と「協創」
～子どもたちの笑顔を未来につなぐために
私たちが今できること～

令和3年度 研究テーマの提案

リソース *resource* とは？

マネージャー *manager* とは？

令和3年度 研究テーマの提案

定義1

リソースとは

教育資源

令和3年度 研究テーマの提案

定義2

教育資源とは

人・情報・お金・施設・信頼などの
有形・無形の資源

令和3年度 研究テーマの提案

定義3

マネージャーとは

学校におけるマネジメント機能を十分に発揮できるようにするため、学校組織における唯一の総務・財務等に通じる専門職である事務職員の職務を見直すことにより、管理職やほかの教員との適切な業務の連携・分担の下、その専門性を生かして学校の事務を一定の責任をもって自己の担任事項として処理することとし、より主体的・積極的に校務運営に参画する

令和3年度 研究テーマの提案

定義3

マネージャーとは

全ての学校事務職員に、学校教育目標の実現を目指し、教職員と対等に対話しつつ、責任を持って担当する実務を処理すること、そして、実務の中で気付いた改善点を積極的に提案していくことが求められるようになった

令和3年度 研究テーマの提案

定義3

マネージャーとは

マネジメント機能を有し、学校運営に参画する学校事務職員

令和3年度 研究テーマの提案

定義4（定義1，定義2，定義3から）

リソースマネージャーとは

教育資源を

調達・開発・管理・活用・運用する
学校事務職員

令和3年度 研究テーマの提案

定義5

「連携」とは「学校事務機能」

「財務と教育課程をつなぐ役割」

「学校と地域をつなぐ役割」

令和3年度 研究テーマの提案

定義6

「協創」とは

チームとしての学校において、教員組織、事務組織といった枠組みにとらわれず、戦略的意思決定のもと機動的・機能的組織体制を構築すること。

令和3年度 研究テーマの提案

学校事務職員として学校運営に参画する上で
意識しなければいけないマネジメントは？

- I 学校組織マネジメント
- II カリキュラム・マネジメント
- III 学校財務マネジメント

令和3年度 研究テーマの提案

学校組織マネジメント	学校教育目標の 達成 を目的としたマネジメント
カリキュラム・ マネジメント	学校教育目標の 具現化 を目的としたマネジメント
学校財務マネジメント	学校教育目標の 具体化 を目的としたマネジメント

令和3年度 研究テーマの提案

「マネジメントを機能させる」

言葉では表現できても

実際に、具体的に実践することは
とても難しい。

令和3年度 研究テーマの提案

「マネジメントを機能させる」

言葉では表現できても

実際に、具体的に実践することは

とても難しい。そして、

研究部は「答え」を示す機関ではない

令和3年度 研究テーマの提案

熊事研会則 第1章 第3条

- 1 学校教育の効果をあげるため学校事務の向上発展を図る。
- 2 学校事務職員の資質向上を目指し社会的・経済的地位の向上を図る。

学校事務の方向性を示すこと

令和3年度 研究テーマの提案

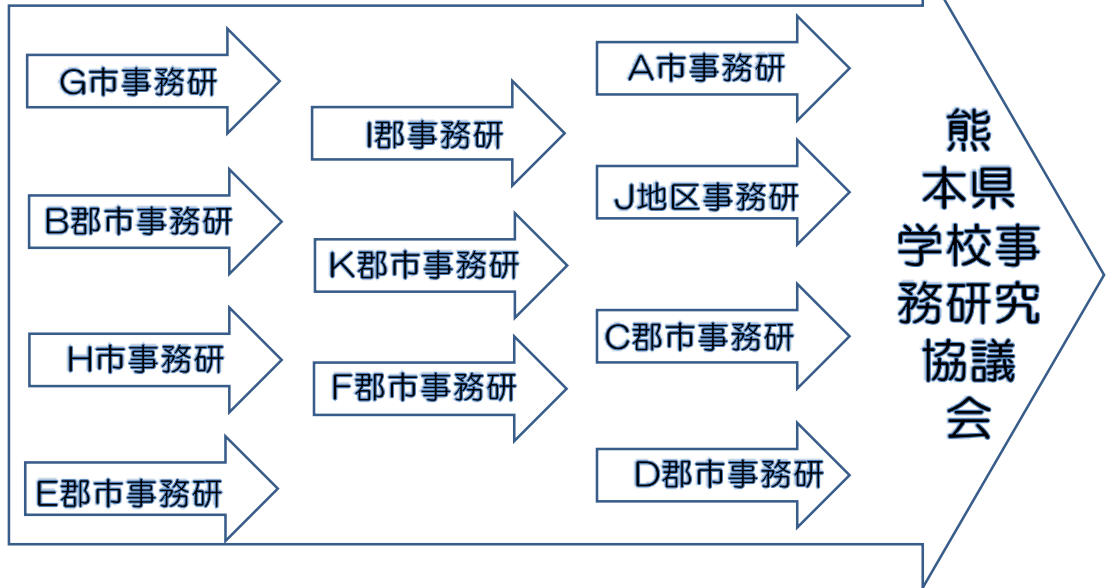
方向性をそろえるために
研究部ではテーマを掲げて
研究に取り組んでいる。

令和3年度 研究テーマの提案

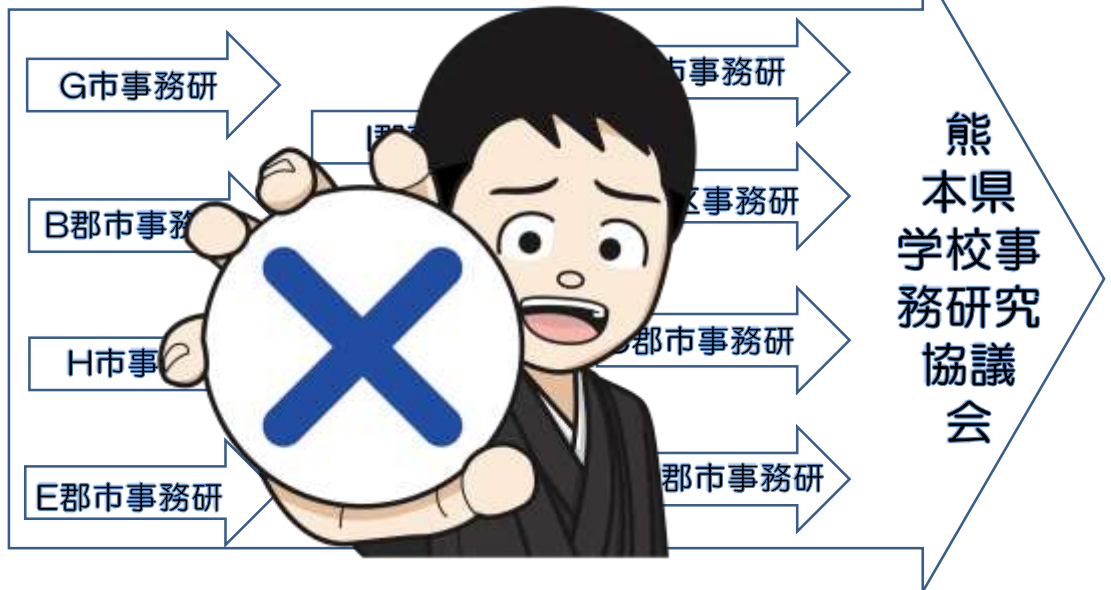
方向性をそろえるために
研究部ではテーマを掲げて研究に取り組んでいる

では、
どっちを向けば良いのか？

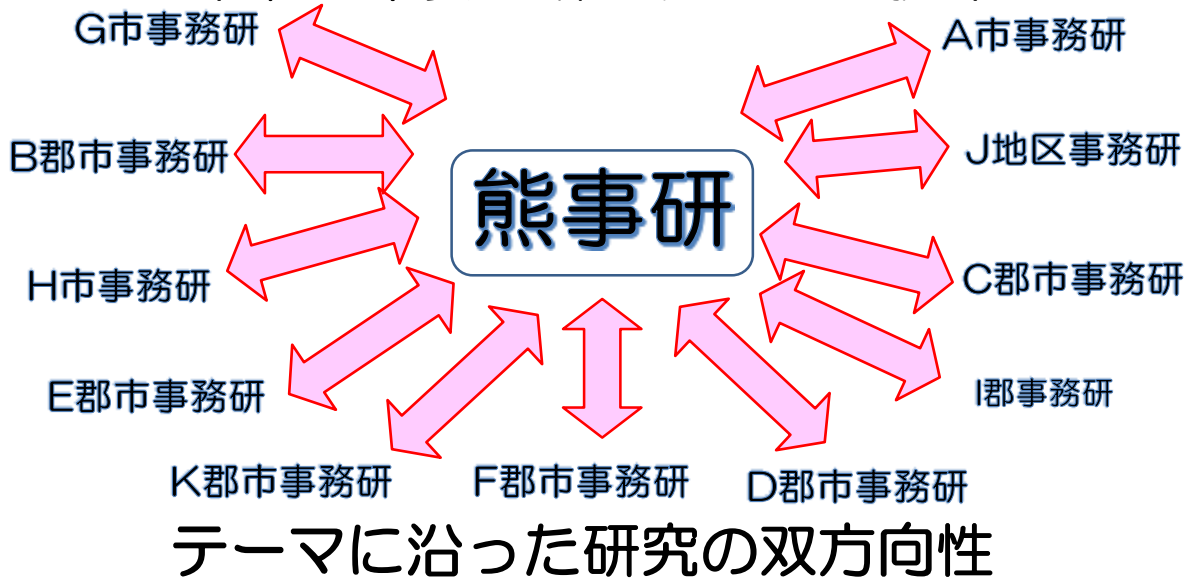
令和3年度 研究テーマの提案



令和3年度 研究テーマの提案



令和3年度 研究テーマの提案



令和3年度 研究テーマの提案

研究部の研究テーマ

リソースマネージャーとしての
「連携」と「協創」

～子どもたちの笑顔未来につなぐために
私たちが今できること～

研究基調のまとめ

まとめ

研究部の研究テーマ

リソースマネージャーとしての
「連携」と「協創」

～子どもたちの笑顔を未来につなぐために
私たちが今できること～

まとめ

研究部の研究テーマ

リソースマネージャーとしての「連携」と「協創」

～子どもたちの笑顔を
未来につなぐために
私たちが今できること～

まとめ

学校教育目標の最終目的地は？

まとめ

学校経営により、
生産されなければ
いけない物。

それは・・・

まとめ





参考資料

Suica	→	2001年
iphone	→	2008年
LINE	→	2011年
YouTuber	→	2011年
PayPay	→	2018年

まとめ

目の前の児童・生徒の
「笑顔」を「未来」につなぐ
学校事務について
研究に取り組まなければいけない

本日の研究会で協議したいこと

なぜ、

子どもたちの**笑顔**を未来に

つなぐために私たちが今できること
を意識しなければいけないのか